

戸田市の環境【概要版】

●令和元年版●

戸田市



環境経済部



本紙は「戸田市の環境(令和元年版)」(本編)の概要版です

第1部

総説



戸田市の概要及び年表を記載しています。

第2部 環境基本計画及び温暖化への取組

市内CO₂排出量（※平成28年度） （本編P.34）

市民1人当たり 温室効果ガス平成17年度比
22%削減
(H28,市民一人当たり換算)

目標値 温室効果ガス平成17年度比
22%削減
(R2,市民一人当たり換算)

※統計データの関係上、平成28年度数値となります。
当計画値は平成28年に改訂された実行計画に基づいております。

省エネ・再エネ設備への補助制度 （本編P.54）

市では省エネ・再エネ設備を普及させるため、平成17年度から補助制度を実施しています。

	機器名	設置数	単価(円)	補助金額(円)	備考	概算CO ₂ 削減量(t/年)
市民	太陽光発電	54	35,000/kW(市内)	6,386,100	212.87 kW (補助分)	115.29
			30,000/kW(市外)		242.72 kW (設置分)	
	エコキュート	40	40,000	1,600,000		19.2
	エネファーム	36	80,000	2,880,000		54
	蓄電池	39	20,000/kWh	3,724,000	186.2 kW (補助分) 297.8 kW (設置分)	
	HEMS	21	10,000	210,000		2.73
	合計			14,800,100		191.22
事業者	太陽光発電	4	35,000/kW(市内)	2,002,800	66.76 kW (補助分)	38.01
			30,000/kW(市外)		80.02 kW (設置分)	
	LED照明	11	設置費用の10%	774,200		
	合計			2,777,000		38.01

とだ環境ネットワーク （本編P.31/P.32）

とだ環境フェア

会場を上戸田地域交流センター(あいパル)に移し、市内環境団体による活動の成果発表やクイズラリーを行いました。

参加団体数:15団体



環境出前講座

講座数 **14講座**

講座開催実績

【平成30年度】9回開催 414人参加

第3部 緑のまちづくりと自然再生

戸田ヶ原自然再生事業 (本編P.62)

自然再生エリア第1号地で5,493株のサクラソウが開花しました。



戸田ヶ原について多くの方に知っていただけるよう、イベントやパネル展示などのPR活動をしています。



平成30年度は戸田市役所、イオンモール北戸田などで実施しました。

苗木の無料配布 (本編P.59)

平成26年度より「とだグリーンウェイブ」を実施し、市民や事業者とともに市内緑化の推進に励みました。平成30年度の結果は以下のとおりです。

参加団体	参加者数	場所提供団体数	植樹本数
19団体	122名	1団体	78本



水と緑のネットワーク形成 (本編P.60/ P.61)

私たちの生活を支える 生物多様性

「生物多様性」とは、地球上にさまざまな生き物が存在し、これらの生命の一つひとつに個性があり、支え合って生きていることをいいます。「生物多様性」があることで、きれいな空気や水、適度な温度や湿度、衣食住のもととなる資源など、私たちが生きていく上で欠かせない「自然の恵み」が豊み出されます。

市内においても、彰湖・遊楽グリーンパークや後谷公園など、まとまった緑がある場所では、涼しさや、鳥のさえずりに安らぎを感じたりすることができます。これも「自然の恵み」といえます。

しかし、人間活動による影響が大きな要因で、「生物多様性」は各地で危機的な状況にあります。



彰湖の緑も安らぎをもたらしてくれます。
コニシツワウの成長が喜びが笑顔が広がります。

《水と緑のネットワーク形成プロジェクト》

市では、豊かな自然が残る彰湖・遊楽グリーンパークや公園、住宅の庭などの緑や水辺をつなげて、市内に昆虫や鳥などを呼び込もうという「水と緑のネットワーク形成プロジェクト」を進めています。水と緑のネットワーク形成を進めるには、市民、事業者、市の3者がそれぞれの役割を果たし、連携・協働していく必要があります。



生き物マップづくり

平成30年秋に小中学校の協力のもと行った。生き物調査の結果を基に、生き物マップを作成し、地図情報「いいとだマップ」で公開しています。



第4部 環境（公害）調査と現況



戸田市の「公害苦情」「大気汚染」「水質汚濁」「騒音・振動」「悪臭・地盤沈下」「ダイオキシン類」「放射線」の計7項目について記載しています。

測定結果は本編（P. 65～P. 135）をご参照ください。

第5部 廃棄物処理の現況

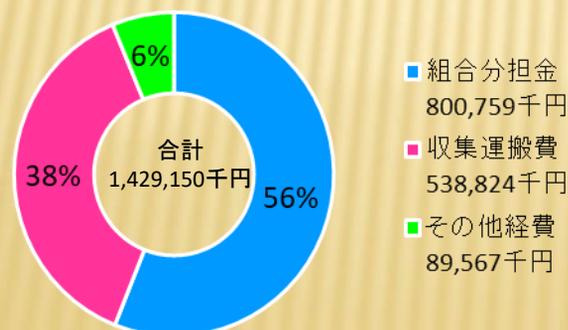
家庭ごみ処理の経緯と処理費用 (本編P.140)

平成30年度にごみ処理にかかった費用は下記のとおりです。

平成30年度 市の一般会計決算



平成30年度 ごみ処理費用



家庭ごみの排出量 (本編P.24/P.141)

1人1日当たりの家庭ごみ排出量
実績値(平成30年度)

588g

目標値(平成27年度)

683g

(※)平成30年度の実績値で目標値を達成しているが、平成30年度以降も引き続き減量できるよう取り組んでいきます。